

平成21年度長岡京市事務事業点検(事業仕分け)結果

班 別	第2班	時 間	11:30~12:10
事業番号	14	所管部署名	学校教育課
事業名	中学校の適切な運営方針の確保事業		
事業仕分け結果	市が実施 内容・規模の見直し		
内 訳	(1)不要	—	
	(2)国及び府実施	1人	
	(3)市実施 現行通り	—	
	(4)市実施 内容・規模見直し	4人	
	(5)市実施 民間委託	—	
	(6)民営化(NPO、地域団体含む)	—	
<p>【「国及び府実施」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校クラブ活動が学校教育の一環か社会教育か、国が明確な区分を示すべき。学校教育の一部であるなら、国が相応の財源措置をすべき。保護者負担はなくす必要がある。</li> </ul> <p>【「市実施 内容・規模見直し」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、府の責任もある。国・府の負担があってしかるべき。</li> <li>・子ども達の活動成果の発表のため、この事業の必要性はわかる。ただし補助の範囲規模については、小学校、高校、他の自治体の状況を考慮し見直すべきである。</li> <li>・補助の形態は、個人ではなく、クラブ活動主体補助とすべきである。</li> <li>・乙訓、山城大会の補助率を低く、近畿、全国大会の補助率高くすれば、補助額のインセンティブにより生徒のやる気が喚起できると思う。</li> <li>・国際理解教育推進の予算をこちらに回してはどうか。</li> <li>・保護者の啓発により、出場選手以外の保護者からの支援体制を作ることはできないか。</li> <li>・校長会負担金は削除すべき。</li> <li>・経費削減のおり財源が厳しいのであれば、対象大会の変更や補助率の変更で対応してはどうか。</li> </ul>			

※今後この事業をどうしていくかは、仕分け結果と仕分け委員からいただいた意見を考慮したうえで、市としての最終的な判断を行います。